



日付: 2021年3月  
仕様書番号: \_\_\_\_\_  
管理番号: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
殿

## 個別納入仕様書

品名: 太陽光発電モジュール  
型番: SPP380QHES フレキシブル

本仕様書は以下の5項目を含み、7枚で構成されています。

1. 部材仕様
2. システム仕様
3. 外形寸法
4. 出力特性
5. 梱包構成

**Jiangsu Sunport power Corp., Ltd**

20# Xishi Road, wuxi New District, Wuxi .Jiangsu,  
214028 jiangsu, P.R.China



## 改定履歴

改定番号	日付	改定内容	承認	作成
0	2020/04/26	新規作成	呉	石
1	2021/03/30	新規作成	呉	石



# 太陽光発電モジュール

型名: SPP380QHES

## 1. 部材仕様

セル種類	PERC 単結晶セル ※組立時に中央でカットして使用 6×21=126 枚
寸法 (A×B×C)	長さ: 1840 mm
	ワイド幅: 1040 mm
	厚さ: 2.5 mm
重量	5.7Kg
裏面素材	バックシート (白色、透明、黒色)
パッケージ素材	0.29mm 高透過高分子ポリマー
枠	枠なし
弯曲半径	R=30 cm
ケーブル	ケーブル長さ 80mm、導体断面積 4.0mm <sup>2</sup>
ダイオード	ショットキーバイパスダイオード
ジャンクションボックス	IP68
バックシート	白
コネクタ	MC4 互換

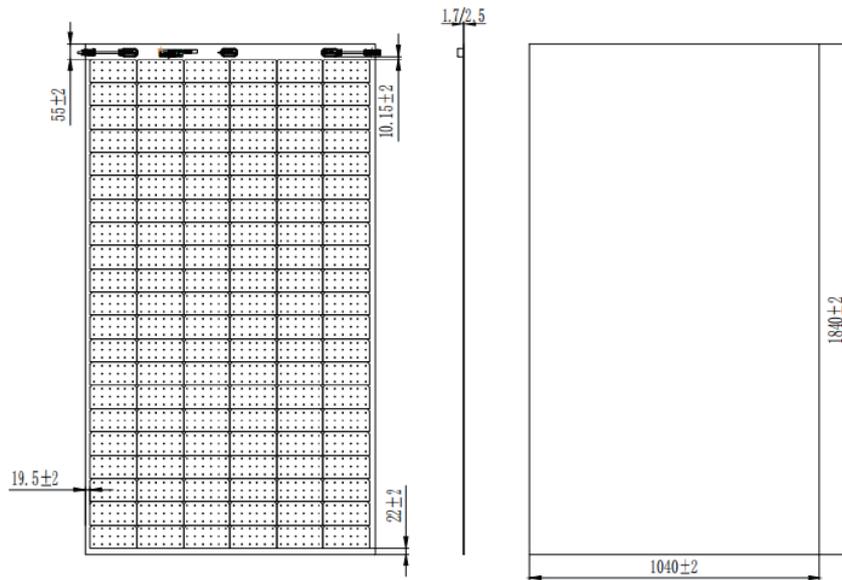
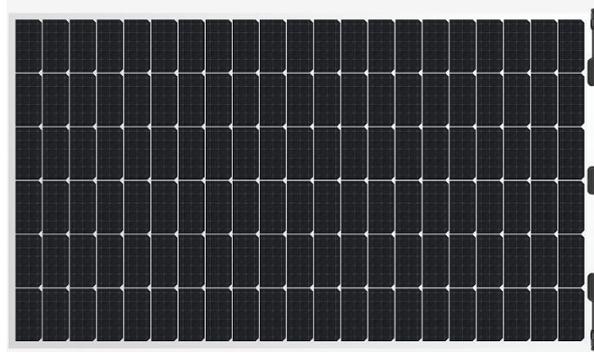
## 2. システム仕様

仕様	データ	単位
動作温度	-40 から +85 まで	°C
直列ヒューズ定格	18A	A
IEC 適用等級 (IEC 61730)	A	
最大システム電圧	1500V DC (IEC 61730)	
モジュール変換効率	19.8	%

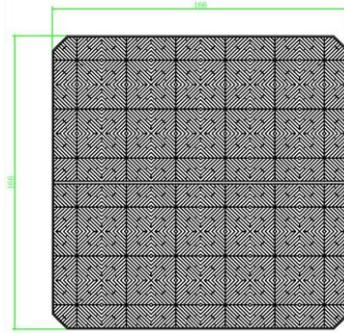


### 3. 外形寸法

モジュール：長さ 1840 mm 幅 1040 mm 高さ 2.5 mm



セル：166 mm × 166 mm





#### 4. 出力特性 (STC: モジュール温度 25℃、日射強度 1KW/m2、AM1.5)

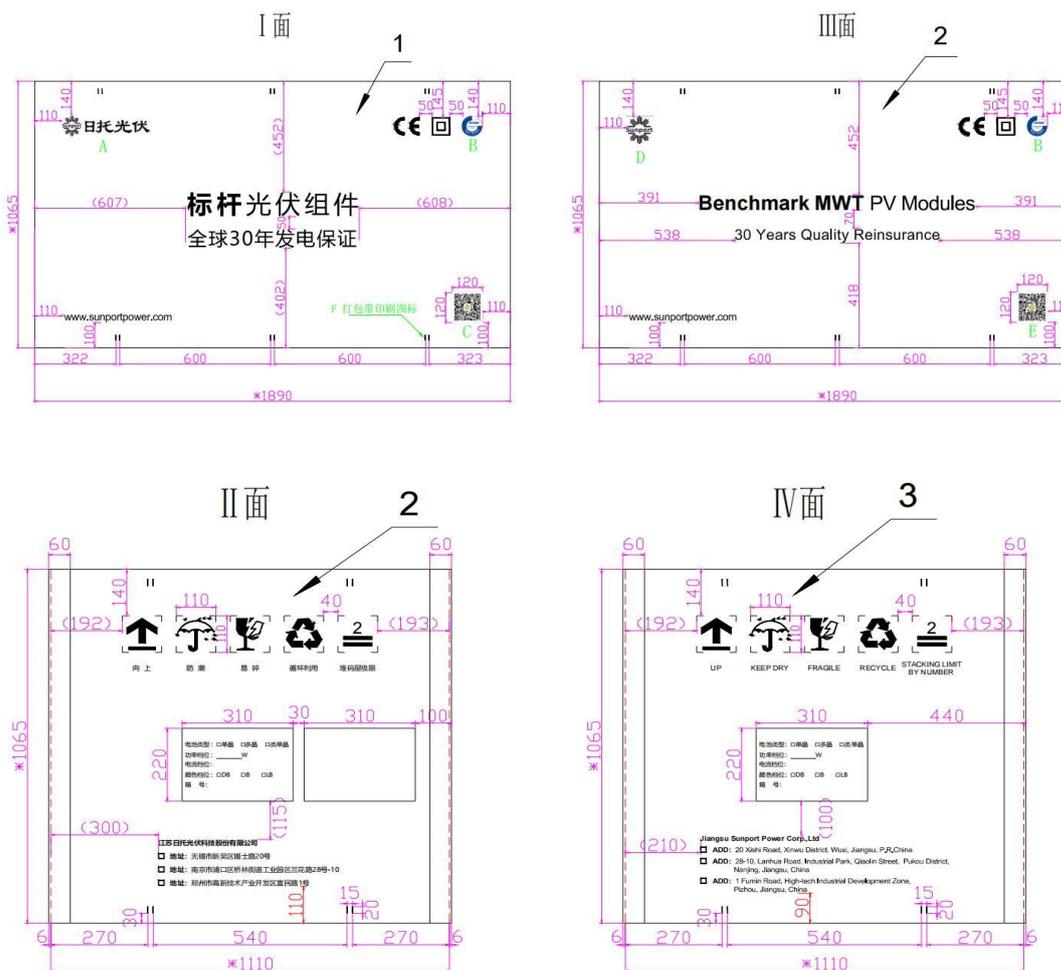
##### 電気特性

モデル	SPP380QHES
公称最大出力(Pmpp)	380W
出力許容差	0W ~+5W
公称最大出力動作電流 (Impp)	10.70A
公称最大出力動作電圧 (Vmpp)	35.50V
公称短絡電流 (Isc)	11.30A
公称開放電圧 (Voc)	43.00V
モジュール変換効率 (%)	19.8

##### 温度係数

公称動作セル温度 (NOCT)	43℃±2℃
VOC の温度係数	-0.28%/℃
ISC の温度係数	+0.06%/℃
PMAX の温度係数	-0.36%/℃

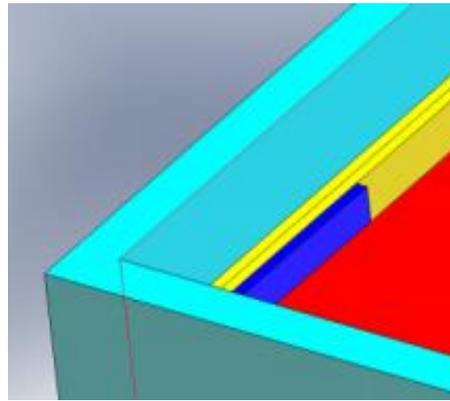
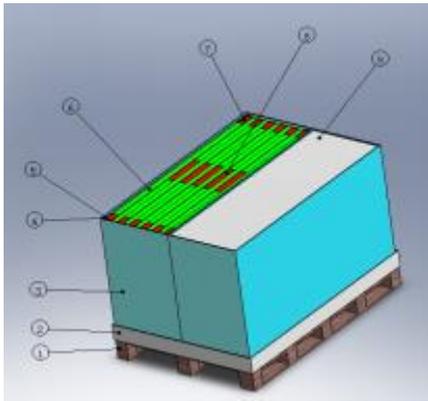
#### 5. 梱包構成



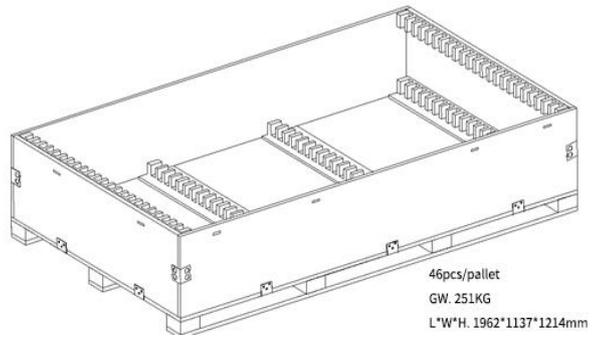
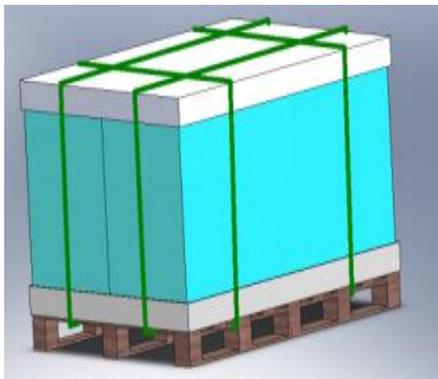
(梱包材の側面に、形名を表示する梱包ラベルを貼付)



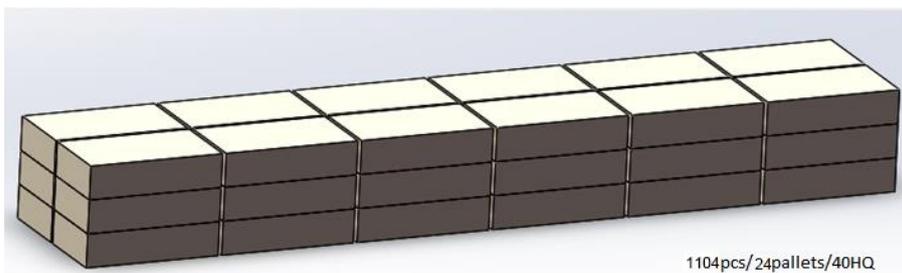
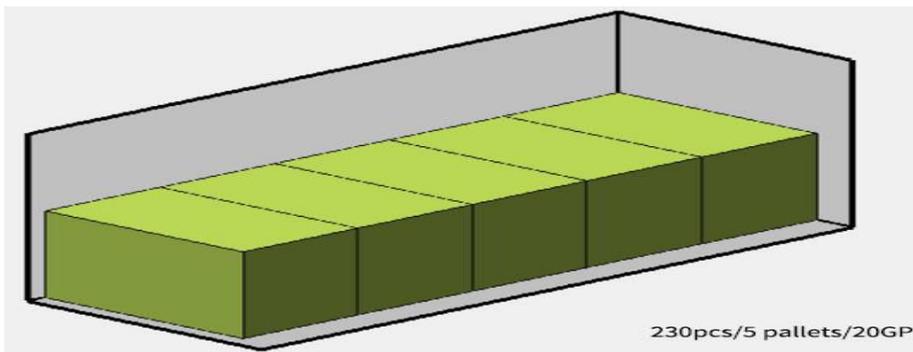
内側狀況



荷姿狀況



運搬





## 据付マニュアル

### 適正な設置方法の選定

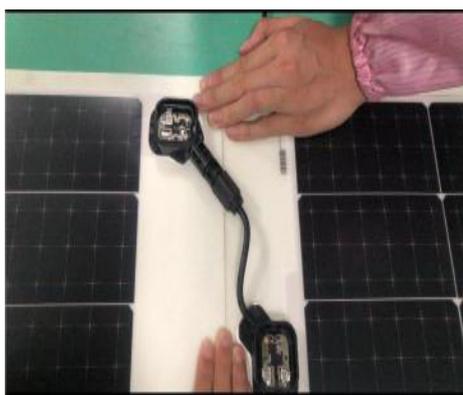
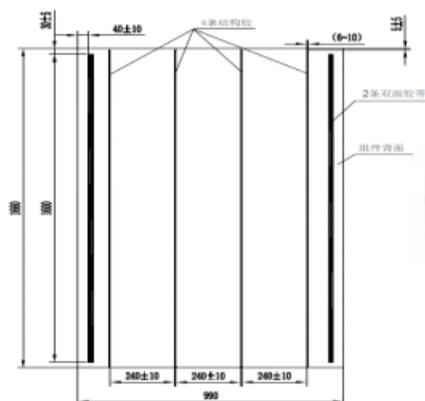
モジュールの耐荷重条件を満たすには、取り付け方式と架台システムの強度に関係し、架台メーカーから十分な強度の提供と保証が必要である。設置架台システムは静的機械分析機能を持つ第三者試験機関によって検査されなければならない、設置国または DIN 1055 規格と同等な標準規格を使用してください。

モジュールを取り付け用架台は、耐久性、耐腐食性、耐紫外線性のある材料で構成する必要がある。モジュールは架台にしっかり固定する必要がある、冬の積雪量が多い地域では、モジュールが地面との接近距離なるべく高くし、高い架台を選択使用してください。長時間の雪に覆われず、またモジュールが植物や木によって日陰にならないように、飛んだ砂や碎石によってモジュールを損傷させないように、設置してください。モジュールは熱膨張と収縮性を持つため、隣接設置するモジュールの最小間隔は 10mm 以上することを推奨する。

### 軽量化モジュールの壁貼りと設置法

壁表面の汚れを除去/拭く後、モジュールの長手方向に沿って、モジュール裏面に幅 6~10 mm、高さ 3~5 mm、長さ 1650 mm、240mm の間隔でシーラント接着剤（型番限定せず、モジュール裏面と設置壁面に接着強度を有するもの）を塗り、5 分間以内にモジュールを壁面に張り付け、必要に応じてモジュール面に少し圧力を加えても良い。シーラント接着剤が完全に固化/固定するまでは、モジュールの四辺に補助用両面テープ（長さ 1600 mm、幅 17 mm）を用いて貼り付け、モジュールの自重による壁面との剥がれを防ぐ補助手段を取っても良い。顧客現地の設置都合により、軽量化モジュールの隅（セルが無い所）にビスを用い、モジュールに穴をあけ、壁面との固定することも可能。取り付ける 2 つのモジュールの設置間隔は 1cm 前後が目安である。

### 軽量モジュールのトタン金属屋根への設置方法



金属（スチール等）トタン屋根の凸部にゴミなどを清掃除去した後、凸部に長さ 1650 mm、幅 8~10 mm のシーラント接着剤を塗り、5 分間以内にモジュールが接着剤上に平らに置く、シーラント接着剤との密着性を保つ為に、必要に応じてモジュール面に少し圧力を加えても良い。モジュールがカバーする範囲の凸部に全部シーラント接着剤を塗ることを勧めする。接着剤を塗った 5 分間以内にモジュールが張り付けることが必要であり、5 分間を超えて貼り付けるとシーラント接着剤との密着性に影響を受ける恐れがある。